

令和3年度 初倉中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-4

	実施方針	目標	具体的な取り組み	
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が地域の一員として安心して過ごせるよう支援します。	コンビニ・個人商店・アパート管理会社等に働きかけ潜在している個別課題を把握する。	アンケートでの方式で情報を収集し、支援が必要な高齢者を把握する(年2回)
			課題分析、援助方法、課題解決に向けた検討を行う。	個別ケア会議の開催(随時)
			地域課題を把握・住民と共有し、問題解決に向けた検討を行う。	地域ケア会議の開催(随時)
			高齢者が食事を通し様々な年代と交流できる場を提供する。	はつくらこども食堂との連携(年3回)
		しまトレ支援・新規立ち上げ	①継続10ヶ所への支援 ②しまトレ出前講座の実施(2ヶ所実施)後、新規開催に繋げる。 ③新規開設した事業所にPRを行い実施に繋げる。	
認知症施策の推進	認知症になっても、地域で支えあいながら住み慣れた場所で生活できるよう支援します。	認知症の方、介護者が相談・交流できる機会をつくる。	①認知症カフェの開催(月6回) ②チームオレンジ連絡会(年5回)	
		幅広い世代に認知症を周知し、サポーターとして活動してもらう。	認知症サポーター養成講座の開催 ①初倉小・初倉南小・初倉中学校(年1回ずつ) ②はつくらこども食堂(年1回) ③ほっと月坂(ふれあい)・南原いきがいくラブ(ふれあい)(年1回ずつ)	
選択項目	家族介護者の負担軽減・離職防止に向けた取り組み	安心して在宅介護が継続できるよう支援します。	介護離職0講座の実施。	①一般企業への講座(年1回) ②個別の相談会を開催する(年1回)
	多職種・他機関とのネットワーク構築	関係機関と連携し高齢者を支えます。	ケアマネージャーとの連携に加え地域の活動を知る機会を設け、積極的にプランに反映できるよう支援します。	①初倉地区ケアマネ連絡会(年3回) ・自立支援型ケア会議との合同開催(グループワーク) ・民生委員との情報交換会 ・医療、介護に関する勉強会 ②地域の活動へケアマネージャーと参加(1事業所につき年2回以上)
			生活安心課と協力し特殊詐欺予防の啓発活動を行います。	地域活動内での講話(年3回)
			民生委員との連携強化。	①民生委員・包括情報交換会(年1回) ②民生委員・児童委員連絡協議会定例会への出席(月1回)
センターの認知度を高めるための周知活動	地域活動へ参加し周知活動を行います。	各団体への口頭・チラシでPRを行う。	しまトレ・居場所・ふれあい・各講座開催時など20ヶ所	